

恵庭市男女共同参画基本計画に基づく

平成 28 年度 事業実施概要書

基本目標Ⅰ 男女の人権の尊重

◇重点課題1 性別による差別や暴力の根絶

家庭や職場、学校、地域などいろいろな場所で、性別による差別や暴力をなくすように、啓発活動や相談体制の充実に努めます。

(1)人権相談、行政相談など

▶【生活環境部 生活安全課】

●弁護士法律相談…法律全般の相談

〈利用件数/36回 延べ利用者数/195人〉

●司法書士相談…法律相談民事一般の相談

〈利用件数/3回 延べ利用者数/12人〉

人権相談、行政相談、法律相談事業の決算額/1,442千円

(2)ひとり親や寡婦、DV相談、生活自立、就労、子育てについての相談と支援

▶【子ども未来部 子ども家庭課】

●配偶者等からの暴力に関する相談に応じ、不安の解消及び情報提供を行います。

〈相談件数/12件〉

まとめ

多くの市民に活用してもらうための啓発活動の検討及び多様化・複雑化してきた相談に対する対応が必要

◇重点課題2 男女共同参画の視点に立った意識づくり

市が発行する広報誌をはじめ様々な情報が男女共同参画の視点でつくられるよう啓発に努めます。

(1)市広報、情報紙等による啓発

- 情報紙「さくらんぼ」の市ホームページへの掲載。
- 「恵庭市男女共同参画基本計画実施事業概要書」の発行と市ホームページへの掲載。
- 家庭と育児の両立支援に関する情報を市ホームページに掲載。
- 「女性のためのワーキングガイド」の市ホームページへの掲載。
- 男女共同参画に関する制度や取組みについて市 facebook へ掲載。

▶【総務部 総務課】



(2)展示事業

- 男女共同参画週間パネル展・・・図書館本館で6月開催。
- 女性に対する暴力をなくす運動パネル展・・・総合体育館で11月開催。

▶【総務部 総務課】

(3)女性の権利に関するポスター掲示とパンフレット配布

- 「女性のための法律相談(公益財団法人 北海道女性協会実施)」ポスター掲示と市ホームページへの掲載。
- 「女性のための相談窓口のご案内」パンフレットの設置と配布。
- 啓発パンフレット「カレシとカノジョ2人の関係 それってデートDVかもしれない!？」の作成と配布。
- 市の行事等での啓発ポケットティッシュ配布。

▶【総務部 総務課】

基本目標Ⅱ 男女が平等に社会参加するための環境づくり

◇重点課題1 政策・方針決定過程等への女性の参画拡大

政策や方針の企画や決定に女性も参加することができるように、市の審議会等の委員や女性職員の登用に努めます。

(1)協議会、審議会といった、附属機関等に参加する女性の割合目標を40%としています。 ▶【総務部 総務課】

●審議会などの情報を市ホームページに掲載し、市民のみなさんが内容に関心を持ち、委員公募へ応募いただけるよう努めます。

●女性人材登録制度…多くの女性に対して登録を募り、審議会や協議会などへの参加を促します。

〈附属機関等の数/90 機関 うち女性のいない附属機関等の数/19 機関〉

〈女性登用率/27.48%〉

(2)市民活動のキーパーソンとなるコーディネート能力のある人材を育成し、市民活動の推進を図ります。 ▶【生活環境部 市民活動推進課】

●市民活動コーディネーター養成講座受講補助金

決算額/80 千円 <受講者/2 名>

※平成 24 年度から 5 年間で 10 名のコーディネーターを養成。



◇重点課題2 就業における男女共同参画を促進するための環境づくり

男女が平等に能力を発揮し、評価され、共に働きやすい環境をつくとともに、女性がもっと積極的に職場へ進出する意欲がもてるよう、就業機会の拡大に努めます。

(1)男女の均等な雇用機会の確保と働きやすい就労環境づくりをめざします。

▶【経済部 商工労働課、総務部 職員課】

- 市内事業所の労働状況調査を隔年実施することで、市内各企業の労働環境や福利厚生を把握、分析し、雇用環境の向上をめざします。
- 男女雇用機会均等法や、改正育児・介護休業法の情報を市ホームページに掲載。
- 特定事業主行動計画を推進し、市役所全体で仕事と家庭の両立を図ります。
- 恵庭市職員、特に男性職員の育児休業取得促進を図ります。
〈男性職員の取得件数/3件 取得率/21.4%〉
- 女性職員の将来を見通した育成と積極的活用、登用することを目的に女性職員リーダー研修を実施。
〈参加者数/32名〉



(2)職場と家庭が両立しやすい環境を整備します。

▶【子ども未来部 子育て支援課、子ども家庭課】

- 保育園において19時15分までの延長保育を11園、一時保育を3園、休日保育を1園で実施。

〈延長保育 利用実人数/379人 利用日数/2,321日〉

〈一時保育 利用実人数/232人 利用日数/715日〉

〈休日保育 利用実人数/15人 利用日数/60日〉

- 仕事などで日中保護者が家庭にいない子どもたちを対象に、学童クラブを開設。

決算額/141,270千円

〈開設/16か所 在籍児童数/544人 うち障がい児/10人 ※月平均〉

- 子育て支援に積極的に取り組んでいる市内 企業・団体を「恵庭市子育て応援企業」として表彰。〈表彰企業/3社〉

- こども緊急さぼねっと事業

決算額/2,039千円 〈依頼会員/137人 協力会員/28人 利用件数/39件〉

- ファミリー・サポート・センター事業

決算額/ 3,973千円

〈依頼会員/751人 協力会員/130人 両方会員/87人 利用件数/1,182件〉

(3)職場と家庭が両立しやすい環境を整備します。

▶【子ども未来部 子ども家庭課】

- ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金事業

…就労のために受講する各種講習会や、看護師・保育士などの資格取得のために修業する養成機関の費用を2年間助成します。

決算額/ 6,835千円

〈自立支援教育訓練給付金/0人 高等職業訓練促進給付金/6件〉

まとめ

男女雇用機会均等法の観点から、雇用主や労働者に対して就労環境の整備に関する情報提供や啓発に努めるほか制度の利用がしやすい職場風土を作り出す必要がある。

また、サービスの利用希望者や利用者のニーズが多様化しており、サービスの質の向上が課題となっている。

基本目標Ⅲ 男女が平等に安心して暮らせる環境づくり

◇重点課題1 安心して子育てができる環境整備

男女が共に、職業と家庭を両立し、安心して子育てができるよう、子育て環境の整備に努めます。また、男性の子育てを支援します。

- (1)子どもと家族の健康づくりや育児相談、親子同士の交流を行い、不安の軽減と解消をめざします。 ▶【保健福祉部 保健課】
- 乳幼児すくすく相談 〈開催回数/12回(月1回) 利用延べ人数/463人〉
 - 育児教室…育児中の親子が交流し、離乳食や歯の手入れなどについて学びます。
〈開催回数/6回 参加延べ人数/87組〉
 - 乳幼児健診 〈受診人数/2,063人〉
- (2)子育て支援センターを柏陽、恵み野、島松、黄金、柏の市内5か所に設置し、育児相談のほか、親子で自由に遊びながら、他の親子と交流や情報交換する場を設けています。 ▶【子ども未来部 子育て支援課】
- 子育て支援センター事業 決算額/22,951千円
 - *プレイセンター事業 〈開催回数/130回 参加延べ人数/1,861人〉
 - *のびのびパーク 〈開催回数/44回 参加延べ人数/1,167人〉
 - *サンデーパパ 〈開催回数/12回 参加延べ人数/365人〉
 - *Happyマッピーリフレッシュ 〈開催回数/12回 参加延べ人数/437人〉
 - *もりもりクッキング 〈開催回数/7回 参加延べ人数/187人〉
 - *みんなの広場 〈開催回数/57回 参加延べ人数/906人〉
 - 産後子育てサポート事業…助産師による専門的な相談・指導のための費用助成。
決算額/24千円 〈利用者数/10人〉
- (3)すべての子どもたちや保護者が安全で安心して地域で過ごすことができる場所作りを目指します。 ▶【子ども未来部 子ども家庭課】
- 「恵庭市子どもの居場所づくりプラン」に基づき、子どもひろばや学童クラブ、子育て支援センターの3つの機能を併せ持つ「子どもの集う場所」を計画的に整備を進めます。
 - *柏子どもの集う場所(フーレかしわ)をかしわのもり内に新規開設
決算額/228,834千円 〈延べ利用者数/83,309人〉

(4)家庭教育における様々な課題の解決へのヒントを得る学習機会を提供します。

▶【教育部 社会教育課】

- 家庭教育セミナー 決算額/64 千円 〈参加者数/60 組 200 人〉

(5)子どもを産み育てるための助成と支援を行います。

▶【保健福祉部 保健課、国保医療課、子ども未来部 子ども家庭課】

- 妊産婦・乳幼児家庭訪問事業
 - * 乳児家庭全戸訪問事業 〈訪問件数/434 件〉
 - * 養育支援訪問事業 〈訪問件数/87 件〉
- 小児救急普及啓発事業…冊子「こどもの救急」の作成 〈作成部数/580 冊〉
- 予防接種事業…0～20 歳未満で予防接種法等の法令で規定する市民を対象に実施。 決算額/126,336 千円 〈予防接種延べ人数/14,146 人〉
- 子育て支援短期利用事業…疾病等の理由により養育が困難となった場合、児童福祉施設等で児童を一時的に養育
 - 決算額/280 千円 〈申請件数/3 件 延べ利用日数/53 日〉
- ひとり親家庭等医療費の助成 決算額/42,296 千円
 - 〈対象者数 保護者/746 人 子/1,120 人〉
- 子ども医療費の助成 決算額/100,929 千円
 - 〈受給者数 未就学児/3,506 人 小学生/444 人 中学生/54 人〉
- ひとり親家庭等生活支援員派遣 決算額/66 千円
 - 〈利用者数/3 人 延べ利用時間/36 時間〉
- 子ども相談窓口(家庭児童相談)
 - …18歳未満の子どもや家庭に関する相談を、家庭児童相談員が受けています。
 - 〈家庭児童相談/345 件 ひとり親家庭相談/1,471 件〉



まとめ

多様化、複雑化する相談内容への対応、支援員の受入れ体制の整備について検討する必要がある。

◇重点課題2 高齢者や障がい者が生き生きと安心して暮らせる環境の整備

だれもが安心して暮らせるよう高齢者や障がい者などにも住みよい環境を整備するよう努めます。

(1)健康に関する正しい知識の普及を図ります。 ▶【保健福祉部 保健課】

- シニア向けポータルサイト「ウェルネススペースえにわ」にて、健康、スポーツ、イベント、社会参加に関する情報を提供します。
- 高齢者健康教育事業…健康講話や「いきいき百歳体操」などの運動体験を通し、高齢者の健康維持・増進を図ります。

決算額/72千円 〈実施回数/3回 参加延べ人数 132人〉

(2)高齢者の疾病の発症及びまん延を防ぐための支援を行います。

▶【保健福祉部 保健課】

- 高齢者予防接種事業 決算額/34,889千円 〈接種延べ人数/10,539人〉

(3)高齢社会を生き生きと健康で暮らすため安心して生活できるよう支援します。

▶【保健福祉部 介護福祉課】

- 介護予防老人福祉スポーツ大会 〈参加者数/798人〉
- 介護予防老人健康ハイキング 〈開催日数/2日 参加者数/372人〉
- 協同労働プラットフォーム事業 決算額/3,431千円
 - *コーディネーター等養成講座 〈開催回数/12回 参加延べ人数/93人〉
 - *地域懇談会・市民フォーラム 〈開催回数/9回 参加延べ人数/62人〉
 - *セミナー・サロン・集会等の実施 〈開催回数/4回 参加延べ人数/93人〉

(4)高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図ります。

▶【経済部 商工労働課】

- 恵庭市シルバー人材センター事業
 - …センターの実施する事業に対し、助成を行います。

- (5)地域包括支援センター「たよれーる」による支援 ▶【保健福祉部 介護福祉課】
- 地域包括支援センター事業…介護保険法に基づき、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上、福祉の増進を図ります。
- (6)介護にかかわる家族の研修と交流を行います。 ▶【保健福祉部 介護福祉課】
- 家族介護支援事業…高齢者の介護をしている家族が、介護の負担から一時的に解放され、介護者相互での交流することにより、介護疲れを癒し、介護力の持続を図ります。
- 〈合同交流会/4回 参加延べ人数/35人〉
〈随時交流会/9回 参加延べ人数/71人〉
- (7)障がいのある方が自立生活を営めるよう、サービスの向上に努めます。
- ▶【保健福祉部 障がい福祉課、子ども未来部 子ども発達支援センター】
- 障害者総合相談支援センターの設置運営…障がいのある人へ就労支援や障がいの種別やニーズに対応し、総合的・専門的な相談支援を行います。
- 決算額/31,469千円
- 社会生活支援事業…軽作業等を通して、就労への意識を高め社会生活能力の向上を図ります。
- 〈契約者数/4名 利用延べ人数/77人〉



(8)障がいのある方に対する理解及び関係機関との連携強化、情報の共有化を図り、障がいへの理解促進・普及啓発に努めます。 ▶【保健福祉部 障がい福祉課】

- 障がい理解促進・普及啓発事業 決算額/97 千円
 - *障がい者差別解消法講演会 〈参加者数/136 件〉
 - *障がい者差別解消法パンフレット作成
 - *障がい者差別解消法職員対応要領説明会の開催
 - *職員手話講座の開催
- 障がい者就労支援事業 決算額/106 千円
 - *農福連携ネットワーク会議 〈開催回数/2 回 延べ参加人数/39 人〉
 - *農福連携先進地視察 〈参加人数/20 人〉
 - *農福連携シンポジウムの開催 〈参加人数/112 人〉

(9)障がいや発達に心配のある子どもたちの支援を行います。

▶【子ども未来部 子ども家庭課】

- 障がい児相談支援・・・障がい児通所支援に係る支援事業者との連絡調整及び支援利用計画の作成
〈計画相談/222 件 モニタリング/299 件〉
- 障がい児通所支援サービス事業・・・通所支援利用者に対し給付費を支給
決算額/150,220 千円
 - *児童発達支援・・・日常生活における基本的動作の指導や、集団生活での適応訓練を実施。〈利用実人数/104 人 利用回数/4,142 回〉
 - *放課後等デイサービス・・・障がいのある就学児童の放課後及び学校休業日に社会生活能力の向上のために必要な訓練の実施。
〈利用実人数/116 人 利用回数/14,215 回〉
 - *保育所等訪問支援・・・発達支援が必要な児童がいる所属機関に支援員が訪問し、集団生活に適應するために専門的な支援を実施。
〈利用実人数/2 人 利用回数/17 回〉
- 地域生活支援事業 決算額/7,611 千円
 - *移動支援事業 〈利用実人数/21 人 利用回数/1,303 回〉
 - *日中一時支援事業 〈利用実人数/13 人 利用回数/89 回〉
 - *日中一時支援事業(重度心身入浴型) 〈利用実人数/5 人 利用回数/118 回〉

- (10)障がいのある子どもたち一人ひとりのニーズに応じた支援を受けられる場を提供し、安心して生活できるよう支援を行います。 ▶【子ども未来部 子ども発達支援センター】
- 子ども発達支援センターを設置し、発達に心配のある児童に対する支援を総合的かつ専門的に推進するとともに、支援が必要な児童への早期対応を効果的に進めるため、発達相談に取組み、早期発見・早期支援を目的とした事業を実施します。
 - * 放課後等デイサービス 〈利用実人数/56人 利用回数/1,072回〉
 - * 児童発達支援 〈利用実人数/85人 延べ利用人数/3,300人〉
 - * 保育所等訪問支援 〈利用実人数/2人 利用回数/17回〉
 - * 小児神経医による子ども発達相談 〈利用延べ件数/21件〉
 - * 市町村子ども発達支援センター事業
 - 〈利用延べ件数 基本相談/105件 健診(1歳6ヶ月、3歳)/65件
 - 乳幼児発達支援教室/83件 地域子ども支援/14件〉
 - * 恵庭市発達支援推進協議会開催
 - * 恵庭市子どもの発達講演会 〈参加人数/169人〉
 - 相談支援・・・子ども発達支援センター内に設置の「子ども相談支援室え〜る」の相談支援専門員が、電話や来所での相談を行います。
 - 〈利用延べ人数/587人〉

まとめ

高齢期を生き生きと過ごすために実施している各事業への参加促進に向け、継続して啓発する必要がある。
また、高齢者の増加に伴う支援対象者及び支援困難な事例への対応、多様化する個々のニーズや障がいの特性に対応できるよう窓口の充実が必要。

◇重点課題3 地域社会における男女共同参画の推進

地域社会で性別や世代、価値観の異なる人々が互いに支え合い、差別なく活動が進められるよう促進します。

- (1)市民活動の活性化による市民と行政の協働のまちづくりを推進します。

▶【生活環境部 市民活動推進課】

- 市民活動センター推進事業 決算額/11,207千円 〈会員数/101団体・個人〉

◇重点課題4 防災分野・防災現場への参画推進

過去の震災被害から浮かび上がった女性をめぐる諸問題の解決だけでなく、性別や年齢を問わず、あらゆる事態に対応できる防災対策と防災意識の啓発を実施します。

(1)起こりうる災害や平常時からの備えについて、知識の普及及び防災意識の向上を図ります。 ▶【総務部 基地・防災課】

- 出前講座の開催 〈参加者/22 団体 491 人〉
- 防災学習会・・・小学校区に居住する住民や児童に対し学習会を開催 〈参加者/36 人〉

(2)自主防災組織の組織率向上及び活動活性化を図ります。 ▶【総務部 基地・防災課】

- 自主防災組織等活動支援金事業
 - * 防災活動支援(ハード面) 決算額/1,200 千円 〈助成団体/4 団体〉
 - * 防災活動支援(ソフト面) 決算額/198 千円 〈助成団体/10 団体〉
 - * 設立準備支援 決算額/87 千円 〈助成団体/5 団体〉

(3)防災分野での女性人材の登用を進めます。 ▶【総務部 基地・防災課】

- 地域防災計画について女性や高齢者、障がい者など様々な視点を取り入れ、計画の修正と前進に努めます。

まとめ

女性や高齢者、障がい者など様々な視点を取り入れるとともに、防災への意識向上、各種事業への参加を促す必要がある。

基本目標Ⅳ 男女共同参画の視点に基づく教育・学習の充実

◇重点課題1 家庭における男女共同参画教育・学習の推進

家庭での男女役割分担意識の解消をめざし、幼児期から家族一人ひとりの人権を認め合うよう啓発を行います。

(1)従来からの男性重視の家族制度にとらわれない家庭環境の重要性について啓発します。 ※再掲 ▶【総務部 総務課】

- 情報紙「さくらんぼ」の市ホームページへの掲載。
- 家庭と育児の両立支援に関する情報を市ホームページに掲載。
- 「女性のためのワーキングガイド」の市ホームページへの掲載。
- 男女共同参画に関する制度や取組みについて市 facebook へ掲載。
- 「女性のための相談窓口のご案内」パンフレットの設置と配布。

(2)家事や子育て、介護について男女が平等に共同して担う意識を醸成します。 ▶【保健福祉部 保健課、介護福祉課】

- 育児教室 ※再掲
- 家族介護支援事業 ※再掲

(3)男女共同参画の視点に基づいた家庭教育に関する学習機会を提供します。 ▶【教育部 社会教育課、保健福祉部 介護福祉課】

- 家庭教育セミナー ※再掲
- 高齢者健康教育事業 ※再掲

◇重点課題2 学校における男女共同参画教育・学習の推進

学校は家庭や地域と共に子どもの価値観や社会的規範などの人格形成に大きな役割を担っており、より一層男女平等観に立った教育の実践が図られるよう努めます。

(1)学校教育における男女共同参画の推進 ▶【教育部 学校教育課、総務部 総務課】

●教職員を対象として人権尊重、男女共同に関する文書による啓発を行います。

●女性教職員の管理職登用促進を関係機関と連携し、促進します。

〈市内女性教職員管理職人数/小学校校長1人、中学校校長1人、中学校教頭1人〉

●男女共同参画に関するキャッチフレーズの募集

…市内各中学校から内閣府主催の男女共同参画に関するキャッチフレーズ募集事業へ応募するとともに、恵庭市の男女共同参画の周知・啓発に活用。

(2)学校で男女平等観に立った教育に努めます。 ▶【教育部 学校教育課、教育支援課】

●男女が共同して家庭を築いていくという意識を育てる指導を図ります。

* 道徳教育…「私たちの道徳」の活用

* 性教育…保健分野の学習を生かし、各学年の発達段階に応じた身体機能の発達や生殖機能の成熟についての指導をすすめます。

* 中学「社会科」…現代社会を学ぶ中で、個人の尊厳と両性の本質的平等に関する学習を進めます。

●人権を尊重し、共に生きる意識を育てます。

* CAP教育プログラム事業…いじめを含めた様々な暴力から「自分を守る」ための教育を行います。

* 社会科副読本に「恵庭市の男女共同参画」を掲載。



◇重点課題3 社会における男女共同参画教育・学習の推進

性別による男女の役割分担意識を是正し、多様な生き方や暮らし方を持った人々が、周囲の人々と共生しながら、自分らしさを大切にしていけるよう人権意識の啓発を推進します。

(1)市民へ市政への理解と関心を深めてもらうとともに学習する機会を提供します。

▶【企画振興部 広報課】

●出前講座の開催 〈実施回数/106回 参加延べ人数/2,779人〉

(2)地域で様々な活動に係わる女性を対象に情報・知識・技術を提供し、育成・支援を図ります。

▶【教育部 社会教育課】

●女性の学び支援事業

*女性人材育成セミナー 決算額/41千円 〈参加人数/30人〉

●学習活動団体への育成支援・・・団体の自主活動への助成

●女性団体活動者研修会

※恵庭市地域女性連絡会と共催。

決算額/10千円 〈参加者/76人〉

(3)男女共同参画の視点に基づいた社会教育を進めます。

▶【総務部 総務課】

●地域における男女共同参画推進について学習するためのフォーラムを実施します。

*男女共同参画フォーラム 決算額/57千円 〈参加人数/86人〉

※女性ネットワークえにわと共催

●国や道の情報を、広報及び市ホームページ等に掲載し、周知に努めます。

まとめ

参加者を増やすとともに更なる意識向上のために事業内容の検討が必要。

基本目標Ⅴ 生涯にわたる健康の支援

◇重点課題1 性と生殖について、その健康と自由に選択する権利の普及

◇重点課題2 ライフステージに応じた健康づくりの推進

女性は、妊娠や出産の機能からもたらされる特有の健康課題を心身に多く生じます。そのため、男女それぞれのライフステージに応じた健康づくり支援と相互理解に努めます。

(1)妊娠、出産、育児における健康づくりを支援し、知識や情報の提供と相談体制を充実させます。

▶【保健福祉部 保健課】

- 妊婦健康診査支援事業 〈支援件数/5,521 件〉
- 妊娠期の健康づくり事業
 - *妊婦相談 〈延べ件数/543 件〉
 - *妊婦教室 〈開催回数/15 回 参加延べ人数/120 人〉
 - *両親教室 〈開催回数/6 回 参加延べ人数/78 組 147 人〉
- 妊婦に優しい環境づくり推進事業
 - *マタニティストラップの配布 〈配布数/496 個〉



(2)疾病等により心身機能が低下している人の機能維持及び改善と保健指導を行います。

▶【保健福祉部 保健課】

- 機能訓練…いきいき百歳体操、健康講話、レクリエーションの実施
 - 〈実施回数/47 回 参加延べ人数/75 人〉
- 訪問指導…生活習慣病予防、療養方法、栄養指導などの相談
 - 〈対象者数/5 人 延べ訪問者数/8 人〉



(3)成人・高齢期を健康に過ごせるよう支援します。

▶【保健福祉部 保健課、健康スポーツ課、国保医療課】

●各種がん検診事業

決算額/21,428 千円

〈集団検診/10回 バス検診/16回 子宮・乳がん検診/4回 レディース検診/3回〉

●がん検診推進事業・・・特定の年齢に達した者に対し、がん検診無料クーポン券を送付し、がんの早期発見及び正しい健康意識の普及啓発を図ります。

* 子宮がん 〈クーポン発送件数/1,586 件〉

* 乳がん 〈クーポン発送件数/1,753 件〉

* 健康診査事業 決算額/1,414 千円

〈集団検診/10回 バス検診/13回 レディース検診/3回〉

●生活習慣病の予防と健康づくりのため、健康学習会や保健指導を行います。

* 高齢者訪問相談活動 決算額/4,842 千円〈訪問者数/808 人〉

* 歯科口腔保健普及啓発事業 〈開催回数/4回 参加延べ人数/164 人〉

●こころの健康づくり・自殺予防の知識を普及啓発し、推進を図ります。

* 講演会 〈参加者数/68 人〉

* パネル展 〈開催場所/4箇所 開催期間/40日間〉

●健康教育・健康相談事業・・・生活習慣病及び介護予防の正しい知識の普及を図り、適切な指導や支援を行うことで壮年期からの健康の保持増進を図ります。

* 健康教育 〈実施回数/63回 述べ参加者数/1,695 人〉

* 健康相談 〈実施回数/777回 述べ参加者数/1,160 人〉

●特定健診・脳ドック等各種検診を実施し、病気の早期発見、治療を促します。

* 特定健康診査 決算額/28,672 千円 〈受診者数/2,769 人〉

* 脳ドック 決算額/8,458 千円 〈受診者数/550 人〉

基本目標Ⅵ 男女共同参画の視点に基づいた国際交流・協力の推進

◇重点課題1 国際交流と国際協力への参画推進

本市に居住する外国人への支援をはじめ様々な機会を捉えて国際交流と協力の推進に努めます。

(1)「恵庭市国際化の指針」に基づいて、海外都市との交流の中で市民の国際理解を深める活動を展開しました。 ▶【企画振興部 企画課】

- 国際交流活動の推進…市民ボランティア等による親睦交流会等の開催を支援します。

〈開催回数/4回〉

- 海外都市との交流促進…姉妹都市であるニュージーランド・ティマル市及び市民間交流のある中国・貴陽市との教育、文化交流を図ります。

- 生活情報等の多言語化の推進し、生活の一助になるよう支援します。

…生活情報マップ、医療マップ、エコバスマップ、時刻表をやさしい日本語、英語、中国語簡体字、中国語繁体字で作成。



基本目標Ⅶ 女性の職業生活における活躍の推進

◇重点課題1 雇用に関する女性登用の推進

事業主へ女性登用を促し、雇用に関する課題解決への取組みを推進します。

(1)就業機会の拡大をめざし、求職相談を受け、求人情報を提供します。

▶【経済部 商工労働課】

- 地域職業相談室 ジョブガイド恵庭にハローワーク千歳の職員が常駐して仕事の相談や求人データの検索、紹介を行っています。

〈ジョブガイド利用者延べ人数/16,052人 就職決定件数/513件〉

- 就職促進事業…幅広い職種選択の機会を提供するとともに地元高校生の就職促進、潜在的な労働力の発掘を行います。

〈就職決定者数/77人〉



基本目標Ⅷ 推進体制の確立

◇重点課題1 庁内推進体制の強化

施策が効率的かつ的確に実施され、計画が着実に推進されるよう推進体制の整備に努めます。

(1)推進本部と実行組織を整えます。 ▶【全庁】

●男女共同参画推進本部会議及び幹事会の開催

…市役所全庁を網羅した推進本部及び実行組織(幹事会)により、施策を検証。

◇重点課題2 推進管理体制の確立

施策の進行状況を定期的に検証することにより、施策が適宜見直され、効率的かつ的確なものとなるよう推進管理体制の確立に努めます。

(1)男女共同参画審議会による検証を行います。 ▶【全庁】

●施策及び事業について審議会でのチェックと再評価を行い、計画を適切に進行管理します。

◇重点課題3 市民との連携と協力

男女共同参画社会の実現のため、幅広い市民と協働し、市民との連携と協力を努めます。

(1)市民と行政、市民相互の連携と充実を図ります。 ▶【全庁】

●女性団体をはじめとする幅広い市民と連携・協力し、各種施策を計画的に進行します。

まとめ

男女共同参画推進のため、市民、企業、行政が連携し、取組む推進体制の構築が必要。

